

coomoo (コモ)

～身近な人にメッセージを伝えるパッケージデザインの提案～



制作主体 人間情報デザインコース 大淵 一博ゼミ

川上 莉奈 Rina Kawakami (北海道札幌新川高等学校出身)

今日も生きてて偉いぞ！毎日生きてて偉いぞ！！

1.背景と目的

パッケージデザインは、様々な役割を持っている。プレゼントやお土産を渡す場面では、贈る相手の顔を思い浮かべながら選び、日頃の感謝や労いを込めて贈ることが、1つのコミュニケーションとなる。このような場面で、パッケージデザインは贈る側から贈られる側へのメッセージの具現であるといえる。パッケージデザインは手紙やメッセージカードに代わり、メッセージを伝達する手段にもなり得るのである。

本研究の目的は、身近な誰かにプレゼントやおみやげを渡す際に、パッケージを通してメッセージを伝えることができるパッケージデザインの提案である。この提案により、パッケージがメッセージの伝達手段のひとつとしての役割を持つことに繋げたいと考えている。

2.概要

提案物のコンセプトは「手紙より気軽にメッセージを伝えることができるパッケージ」と設定し、ターゲットは20～30代の男性とした。商品名

は「communication」と「これからもよろしく」という2つの意味を込め「coomoo(コモ)」とした。

調査から分かった、男性が手紙に苦手意識を感じる要因を解消するアプローチとして、開閉に合わせてメッセージが見え隠れするパッケージを提案した。製作のプロセスとしては、はじめにシナリオを設定し、仕掛けを取り入れたパッケージの試作を経て、モックアップの製作に移った。また、追加製作として、封筒仕様の「coomoo(コモ)」と、郵送用の外箱の製作を行った。

3.まとめ

行った検証により、本提案物は、男性が身近な人にメッセージを送るきっかけとして、効果的であると感ずることが出来た。

今後の展望としては、まず、他の郵送方法や様々な利用シーンを視野に入れ、更なるサイズ展開を検討したい。加えて今後は「coomoo(コモ)」をギフトボックスとして実際に販売することを想定し、販売方法やプロモーション方法についても検討したいと考えている。

